

平成 26 年度 熊本大学 2 次試験前期日程 (数学問題)120 分
 文系 (教育学部, 医学部保健学科看護学専攻) 平成 26 年 2 月 25 日

1 空間内の 1 辺の長さ 1 の正四面体 $OABC$ において, $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$, $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$, $\overrightarrow{OC} = \vec{c}$ とする。また, 点 D を $\overrightarrow{OD} = \vec{b} - \vec{a}$ を満たす点, 点 E を $\overrightarrow{OE} = \vec{c} - \vec{a}$ を満たす点とし, 点 P を OA の中点とする。以下の問いに答えよ。

(1) $0 < t < 1$ に対し, BD を $t : (1-t)$ に内分する点を R とし, CE を $(1-t) : t$ に内分する点を S とする。また, OB と PR の交点を M とし, OC と PS の交点を N とする。このとき, \overrightarrow{OM} と \overrightarrow{ON} を, それぞれ t , \vec{b} , \vec{c} を用いて表せ。

(2) $\triangle OMN$ の面積を t を用いて表せ。

(3) t が $0 < t < 1$ の範囲を動くとき, $\triangle OMN$ の面積の最小値を求めよ。

2 $\triangle ABC$ において,

$$\angle BAC = \theta, \quad AB = \sin \theta, \quad AC = |\cos \theta|$$

とする。ただし, $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ または $\frac{\pi}{2} < \theta < \pi$ とする。以下の問いに答えよ。

(1) BC^2 の最大値と最小値を求めよ。

(2) $\triangle ABC$ の面積の最大値を求めよ。

3 放物線 $C: y = ax^2 + bx + c$ ($a \neq 0$) が点 $P(1, -2)$ と $Q(5, 10)$ を通るとし, P, Q における C の接線をそれぞれ l, m とする。以下の問いに答えよ。

- (1) b, c をそれぞれ a を用いて表せ。
- (2) l と m の交点の y 座標が -4 であるとき, a, b, c を求めよ。
- (3) (2) で求めた a, b, c について, 放物線 C と l, m で囲まれた部分の面積を求めよ。

4 1次関数 $f_n(x) = a_n x + b_n$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) は以下の2つの条件を満たすとする。

- (i) $f_1(x) = x$
- (ii) $f_{n+1}(x)$ は整式 $P_n(x) = \int_1^x 6t f_n(t) dt$ を $x^2 + x$ で割った余りに等しい。

以下の問いに答えよ。

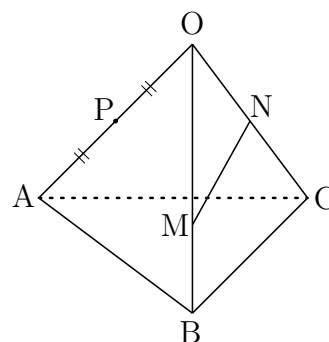
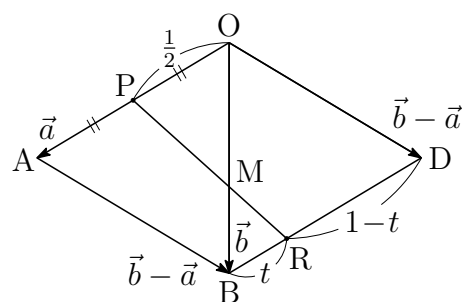
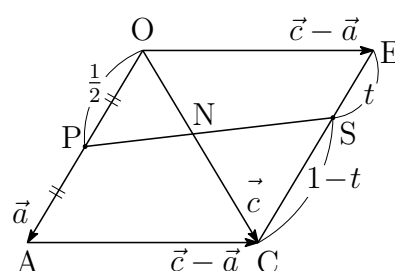
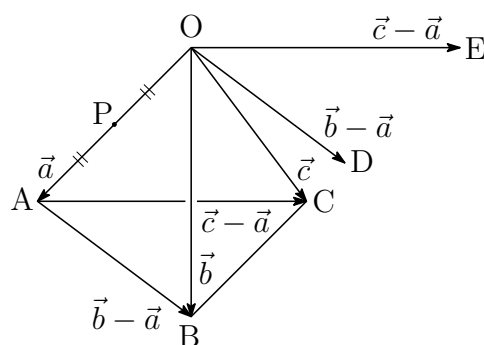
- (1) $n \geq 1$ のとき, a_{n+1}, b_{n+1} を a_n, b_n を用いて表せ。
- (2) $n \geq 2$ のとき, $|a_n|$ と $|b_n|$ は偶数であることを示せ。
- (3) $n \geq 2$ のとき, $|a_n|$ と $|b_n|$ は3の倍数ではないことを示せ。

解答例

- 1 (1) $\triangle OPM \sim \triangle BRM$, $\triangle OPN \sim \triangle CSN$ であるから,
これらの相似比から

$$OM : MB = \frac{1}{2} : t, \quad ON : NC = \frac{1}{2} : (1-t)$$

$$\text{よって } \vec{OM} = \frac{\frac{1}{2}}{\frac{1}{2} + t} \vec{OB} = \frac{1}{1 + 2t} \vec{b}, \quad \vec{ON} = \frac{\frac{1}{2}}{\frac{1}{2} + (1-t)} \vec{OC} = \frac{1}{3 - 2t} \vec{c}$$



- (2) $|\vec{b}| = |\vec{c}| = 1$ であるから, (1) の結果から $OM = \frac{1}{1 + 2t}$, $ON = \frac{1}{3 - 2t}$

$$\begin{aligned} \text{よって } \triangle OMN &= \frac{1}{2} OM \cdot ON \sin 60^\circ = \frac{1}{2} \times \frac{1}{1 + 2t} \times \frac{1}{3 - 2t} \times \frac{\sqrt{3}}{2} \\ &= \frac{\sqrt{3}}{4(1 + 2t)(3 - 2t)} \end{aligned}$$

- (3) $f(t) = (1 + 2t)(3 - 2t)$ とおくと ($0 < t < 1$)

$$f(t) = -4 \left(t - \frac{1}{2} \right)^2 + 4 \quad \text{ゆえに} \quad 3 < f(t) \leq 4$$

$$\triangle OMN = \frac{\sqrt{3}}{4} \times \frac{1}{f(t)} \quad \text{であるから, } \triangle OMN \text{ の面積の最小値は}$$

$$\frac{\sqrt{3}}{4} \times \frac{1}{4} = \frac{\sqrt{3}}{16}$$

2 (1) 余弦定理により

$$\begin{aligned} BC^2 &= \sin^2 \theta + |\cos \theta|^2 - 2 \sin \theta |\cos \theta| \cos \theta \\ &= 1 - 2 \sin \theta |\cos \theta| \cos \theta \end{aligned}$$

(i) $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ のとき, $|\cos \theta| = \cos \theta$ であるから

$$BC^2 = 1 - 2 \sin \theta \cos^2 \theta = 1 - 2 \sin \theta (1 - \sin^2 \theta) = 2 \sin^3 \theta - 2 \sin \theta + 1$$

(ii) $\frac{\pi}{2} < \theta < \pi$ のとき, $|\cos \theta| = -\cos \theta$ であるから

$$BC^2 = 1 + 2 \sin \theta \cos^2 \theta = 1 + 2 \sin \theta (1 - \sin^2 \theta) = -2 \sin^3 \theta + 2 \sin \theta + 1$$

ここで, 関数 $f(t) = -2t^3 + 2t$ ($0 < t < 1$) をおくと $f'(t) = -2(3t^2 - 1)$
 $f(t)$ の増減表は, 次のようになる.

t	(0)	...	$\frac{1}{\sqrt{3}}$...	(1)
$f'(t)$		+	0	-	
$f(t)$	(0)	↗	$\frac{4\sqrt{3}}{9}$	↘	(0)

$$\begin{aligned} t = \sin \theta \text{ とおくと } & 0 < \theta < \frac{\pi}{2} \text{ のとき } BC^2 = -f(t) + 1 \\ & \frac{\pi}{2} < \theta < \pi \text{ のとき } BC^2 = f(t) + 1 \end{aligned}$$

よって, BC^2 の最大値は $\frac{4\sqrt{3}}{9} + 1$, 最小値は $-\frac{4\sqrt{3}}{9} + 1$

$$\begin{aligned} (2) \triangle ABC &= \frac{1}{2} \sin \theta |\cos \theta| \sin \theta = \frac{1}{2} \sin^2 \theta |\cos \theta| \\ &= \frac{1}{2} (1 - |\cos \theta|^2) |\cos \theta| = \frac{1}{2} (-|\cos \theta|^3 + |\cos \theta|) \end{aligned}$$

$u = |\cos \theta|$ とおくと, $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$, $\frac{\pi}{2} < \theta < \pi$ に注意して

$$\triangle ABC = \frac{1}{2} (-u^3 + u) = \frac{1}{4} (-2u^3 + 2u) = \frac{1}{4} f(u) \quad (0 < u < 1)$$

よって, (1) の増減表により, 求める最大値は

$$\frac{1}{4} \times \frac{4\sqrt{3}}{9} = \frac{\sqrt{3}}{9}$$

- 3 (1) 放物線 $y = ax^2 + bx + c$ が点 $P(1, -2)$, $Q(5, 10)$ を通るから

$$-2 = a + b + c, \quad 10 = 25a + 5b + c$$

これを解いて $b = -6a + 3, c = 5a - 5$

- (2) $f(x) = ax^2 + (-6a + 3)x + 5a - 5$ とおくと, $f'(x) = 2ax - 6a + 3$ より

$$f'(1) = -4a + 3, \quad f'(5) = 4a + 3$$

ゆえに, P における接線 l の方程式は

$$y - (-2) = (-4a + 3)(x - 1)$$

すなわち $y = (-4a + 3)x + 4a - 5 \quad \dots \textcircled{1}$

また, Q における接線 m の方程式は

$$y - 10 = (4a + 3)(x - 5)$$

すなわち $y = (4a + 3)x - 20a - 5 \quad \dots \textcircled{2}$

l と m の交点は, $\textcircled{1}, \textcircled{2}$ を解いて $(3, -8a + 4)$

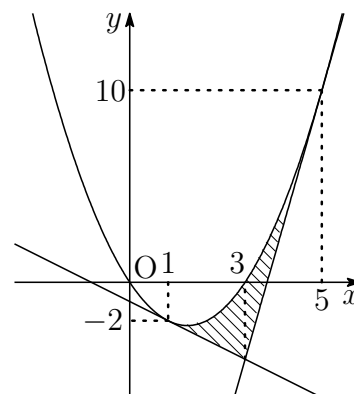
この交点の y 座標が -4 であるから

$$-8a + 4 = -4 \quad \text{ゆえに} \quad a = 1$$

これを (1) の結果に代入して $b = -3, c = 0$

- (3) 求める面積を S とすると

$$\begin{aligned} S &= \int_1^3 \{(x^2 - 3x) - (-x - 1)\} dx \\ &\quad + \int_3^5 \{(x^2 - 3x) - (7x - 25)\} dx \\ &= \int_1^3 (x - 1)^2 dx + \int_3^5 (x - 5)^2 dx \\ &= \left[\frac{1}{3}(x - 1)^3 \right]_1^3 + \left[\frac{1}{3}(x - 5)^3 \right]_3^5 = \frac{16}{3} \end{aligned}$$



解説 l と m の交点の x 座標は $x = \frac{1 + 5}{2}$

(3) で求めた面積 S に対して, C と直線 PQ で囲まれた部分の面積は $2S$ である (九大 2009 年一般前期文系数学 [4](#) の補足¹ を参照).

¹http://kumamoto.s12.xrea.com/nyusi/Qdai_bun_2009.pdf

4 (1) $f_n(x) = a_n x + b_n$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) より

$$\begin{aligned} P_n(x) &= \int_1^x 6t f_n(t) dt = \int_1^x 6t(a_n t + b_n) dt \\ &= \int_1^x (6a_n t^2 + 6b_n t) dt = \left[2a_n t^3 + 3b_n t^2 \right]_1^x \\ &= 2a_n x^3 + 3b_n x^2 - 2a_n - 3b_n \end{aligned}$$

$P_n(x)$ を $x^2 + x$ で割ることにより

$$P_n(x) = (x^2 + x)\{2a_n x + (3b_n - 2a_n)\} + (2a_n - 3b_n)x - 2a_n - 3b_n$$

$P_n(x)$ を $x^2 + x$ で割った余り $(2a_n - 3b_n)x - 2a_n - 3b_n$ が $a_{n+1}x + b_{n+1}$ に等しいので、同じ次数の項の係数を比較して

$$a_{n+1} = 2a_n - 3b_n, \quad b_{n+1} = -2a_n - 3b_n$$

(2) $f_1(x) = x$ より $a_1 = 1, b_1 = 0$

これと (1) の結果により、 a_n と b_n は整数である。

[1] $n = 2$ のとき $a_2 = 2a_1 - 3b_1 = 2, b_2 = -2a_1 - 3b_1 = -2$
よって、 a_2 と b_2 は偶数である。

[2] $n = k$ のとき、 a_k と b_k が偶数であると仮定すると

$$\begin{aligned} a_{k+1} &= 2a_k - 3b_k, & b_{k+1} &= -2a_k - 3b_k \\ &= 2(a_k - b_k) - b_k & &= -2(a_k + b_k) - b_k \end{aligned}$$

したがって、 a_{k+1} と b_{k+1} も偶数である。

[1], [2] から、 $n \geq 2$ のとき、 a_n と b_n は偶数である。

ゆえに、 $n \geq 2$ のとき、 $|a_n|$ と $|b_n|$ は偶数である。

別解 $f_1(x) = x$ より $a_1 = 1, b_1 = 0$

これと (1) の結果により、 a_n と b_n は整数であるから

$$\begin{aligned} a_{n+1} &= 2a_n - 3b_n \equiv b_n \pmod{2} \\ b_{n+1} &= -2a_n - 3b_n \equiv b_n \pmod{2} \end{aligned}$$

$b_1 = 0, b_{n+1} \equiv b_n \pmod{2}$ より $b_n \equiv 0 \pmod{2}$

$a_{n+1} \equiv b_n \pmod{2}$ より、 $n \geq 2$ のとき $a_n \equiv 0 \pmod{2}$

よって、 $n \geq 2$ のとき、 $|a_n|$ と $|b_n|$ は偶数である。

(3) [1] $a_2 = 2, b_2 = -2$ より, a_2 と b_2 は 3 の倍数でない.

[2] $n = k$ のとき, a_k と b_k が 3 の倍数でないを仮定すると

$$\begin{aligned} a_{k+1} &= 2a_k - 3b_k, & b_{k+1} &= -2a_k - 3b_k \\ &= 3(a_k - b_k) - a_k & &= -3(a_k + b_k) + a_k \end{aligned}$$

したがって, a_{k+1} と b_{k+1} も 3 の倍数でない.

[1], [2] から, $n \geq 2$ のとき, a_n と b_n は 3 の倍数でない.

ゆえに, $n \geq 2$ のとき, $|a_n|$ と $|b_n|$ は 3 の倍数でない.

別解 a_n と b_n は整数であるから

$$a_{n+1} = 2a_n - 3b_n \equiv -a_n \pmod{3}$$

$$b_{n+1} = -2a_n - 3b_n \equiv a_n \pmod{3}$$

$a_1 = 1, a_{n+1} \equiv -a_n \pmod{3}$ より $a_n \equiv (-1)^{n-1} \pmod{3}$

$b_{n+1} \equiv a_n \pmod{3}$ より, $n \geq 2$ のとき $b_n \equiv (-1)^n \pmod{3}$

よって, $n \geq 2$ のとき, $|a_n|$ と $|b_n|$ は 3 の倍数でない.